

臨床精神科学

担当講座	神経精神科学講座	問合せ先	神経精神科学講座
分野責任者	大塚 耕太郎 教授	連絡先	内線2011
担当教員	大塚 耕太郎 教授 八木 淳子 教授 福本 健太郎 准教授 三條 克巳 講師 山家 健仁 講師 三田 俊成 講師 内出 希 講師 吉岡 靖史 助教 小泉 文人 助教 本多 笑奈 助教 星 克仁 非常勤講師 遠藤 仁 非常勤講師		
人材育成の 基本理念	精神医学史、医学哲学、社会精神医学、文化精神医学、臨床精神医学、児童精神医学、コンサルテーション・リエゾン精神医学などの知識を持つ臨床家を育成する。		
主な研究内容	以下の点について知識と技能の修得を目指す。 (1) 知覚、思考、記憶、知能、感情、意志、意識、自我意識など、各精神機能の障害としての精神症状。 (2) 統合失調症、気分障害、気質的精神障害（痴呆や症状精神病）、神経症性・ストレス関連性障害、人格障害、知的障害、精神作用物質による障害、などの精神障害。 (3) 精神医学的薬物療法、精神科救急医療、児童精神医学、コンサルテーション・リエゾン精神医学などの精神科臨床。 (4) 精神医療倫理、精神医学史、多文化間精神医学。		
教育成果 (アウトカム)	教育成果	該当するディプロマポリシー	
	精神医学一般及び精神医療についての知識を修得することで、臨床精神科学の理解に到達する。	2,4,5,6	
達成目標	達成目標	対象科目	
	(1)生命科学や、医療行為のための基本的な知識・技能を活用できる。	医学概論、臨床精神科学Ⅱ、臨床精神科学基礎修練2・4	
	(2)計画に従って適切な研究を実施できる。	実験計画法と医学統計学、特別研究、臨床精神科学Ⅱ、臨床精神科学基礎修練2・4	
	(3)研究結果を適切にまとめ、発表できる。	実験計画法と医学統計学、特別研究、臨床精神科学Ⅱ、臨床精神科学基礎修練2・4	
	(4)高い専門知識や熟練した技能・技術で、多職種連携業務に貢献できる。	多職種連携チーム医療、臨床精神科学Ⅰ・Ⅱ、臨床精神科学基礎修練1～4	
	(5)次世代の育成に貢献できる。	特別研究Ⅰ・Ⅱ	
	(6)精神症状の種類とその精神病理について説明できる。	臨床精神科学Ⅰ、臨床精神科学基礎修練1・3	
	(7)精神疾患や精神障害の種類と特徴について説明できる。	臨床精神科学Ⅰ・Ⅱ、臨床精神科学基礎修練1～4	
(8)精神障害の治療法について説明できる。	臨床精神科学Ⅰ・Ⅱ、臨床精神科学基礎修練1～4		
資格取得等	特になし		
履修に関する 情報	履修申請の際には事前相談に応じる。また、社会人大学院生など、勤務等で講義に出席できない場合は、日程の調整に応じる。 (問合せ先：神経精神科学講座・内線2011)		

●在学中に履修できるカリキュラム

区分	配当年次	科目名		開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
研究 特論	1年	講義	臨床精神科学Ⅰ	前期	15コマ	2	20単位	
		講義	臨床精神科学Ⅱ	前期	15コマ	2		
	1年	演習	臨床精神科学基礎修練1	通年	30コマ	4		
		演習	臨床精神科学基礎修練2	通年	30コマ	4		
	2年	演習	臨床精神科学基礎修練3	通年	30コマ	4		
		演習	臨床精神科学基礎修練4	通年	30コマ	4		
特別 研究	1年	特別研究Ⅰ（中間審査）		通年	15コマ	2	4単位	
		特別研究Ⅱ（論文作成）		通年	15コマ	2		

※他分野の単位取得は分野責任者に相談の上、教務課へ連絡してください。

●各科目の授業計画

臨床精神科学

コード	MM12181010				MM12181020				MM12181030				MM12181040			
科目	臨床精神科学 I				臨床精神科学 II				臨床精神科学基礎修練1				臨床精神科学基礎修練2			
科目責任者	大塚耕太郎				大塚耕太郎				大塚耕太郎				大塚耕太郎			
担当者	大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎				大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎				大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎、山家健仁、三田俊成、吉岡靖史、内出希、小泉文人、本多笑奈				大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎、山家健仁、三田俊成、吉岡靖史、内出希、小泉文人、本多笑奈			
会場	神経精神科医局				神経精神科医局				神経精神科医局				神経精神科医局			
区分等	区分	講義	単位	2	区分	講義	単位	2	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4
	回数	前期15コマ	配当年次	1	回数	前期15コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	1	回数	通年30コマ	配当年次	1
主な授業内容	1.精神症状論と精神疾患論 2.精神科治療学				1.精神医療倫理 2.こどもの心のケア 3.コンサルテーション・リエゾン精神医学				1.精神症状論と精神疾患論 2.精神科治療学				1.精神保健福祉法 2.コンサルテーション・リエゾン精神医学			
教育成果	1.精神科症候学を説明できる。 2.精神疾患を分類できる。 3.精神科薬物治療の作用機序を説明できる。 4.精神療法の種類を列挙できる。				1.精神科臨床における倫理を説明できる。 2.子どもの心の発達やメンタルヘルス問題を説明できる。 3.子どものメンタルヘルス問題を説明できる。 4.精神科チーム医療を説明できる。				1.精神科症候を評価できる。 2.代表的精神疾患を列挙できる。 3.精神科薬物治療を実施できる。 4.精神療法について説明できる。				1.精神科に関連する法規や制度を説明できる。 2.医療連携の概要を説明できる。 3.精神科チーム医療に参加することができる。			
SBO	分野の達成目標 (4), (6), (7), (8)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (7), (8)				分野の達成目標 (4), (6), (7), (8)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (7), (8)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	精神症候学 第2版 弘文堂、カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 メディカルサイエンスインターナショナル															

コード	MM12181050				MM12181060				MM12189010				MM12189020			
科目	臨床精神科学基礎修練3				臨床精神科学基礎修練4				特別研究 I				特別研究 II			
科目責任者	大塚耕太郎				大塚耕太郎				各(正)指導教員				各(正)指導教員			
担当者	大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎、山家健仁、三田俊成、吉岡靖史、内出希、小泉文人、本多笑奈				大塚耕太郎、八木淳子、三條克巳、福本健太郎、山家健仁、三田俊成、吉岡靖史、内出希、小泉文人、本多笑奈				各指導教員				各指導教員			
会場	神経精神科医局				神経精神科医局				各指導教員と相談の上決定				各指導教員と相談の上決定			
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2
	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年30コマ	配当年次	2	回数	通年15コマ	配当年次	1	回数	通年15コマ	配当年次	2
主な授業内容	1.精神科治療学				1.こどもの心のケア 2.コンサルテーション精神医学				・生命科学や研究手法の基礎的な知識 ・研究計画調書の作成・中間審査の準備				・生命科学や研究手法の専門的、発展的な知識 ・論文作成・最終試験の準備			
教育成果	1.精神科薬物治療を熟練する。 2.修正型電気けいれん療法を説明できる。 3.認知行動療法を実施できる。				1.子どものメンタルヘルス問題に対してケアを実施できる。 3.緩和ケア、救急医療、認知症治療、合併症治療など他科連携を率先して行う。 4.がん告知後の反応について説明できる。				生命科学や研究手法の基礎的な知識を身につける。研究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <中間審査> 1年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研究の概要及び進捗状況について口答で説明し、現在に至るまでの過程及び初期審査時の目標の達成度等について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。				生命科学や研究手法の専門的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文が作成できる。			
SBO	分野の達成目標 (4), (6), (7), (8)				分野の達成目標 (1), (2), (3), (4), (6), (7), (8)				分野の達成目標 (2) (3) (5)				分野の達成目標 (2) (3) (5)			
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。 全講義終了後は速やかに「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードすること。 「受講票・履修報告書」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。															
評価方法	「受講票・履修報告書」により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100～80点、B:79～70点、C:69～60点、D:59～0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。															
講義日程	時間割参照															
教科書参考書	カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 メディカルサイエンスインターナショナル															

●時間割

臨床精神科学

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20	臨床精神科学 I	臨床精神科学基礎修練 1~4	臨床精神科学基礎修練 1~4			基礎科目
2 限	10:30~12:00	臨床精神科学 II					
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30			特別研究 I~II			
6 限	19:40~21:10						
【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20		臨床精神科学基礎修練 1~4	臨床精神科学基礎修練 1~4			基礎科目
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30			特別研究 I~II			
6 限	19:40~21:10						

<履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】 講義時間		月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						